3.2　社会的状況

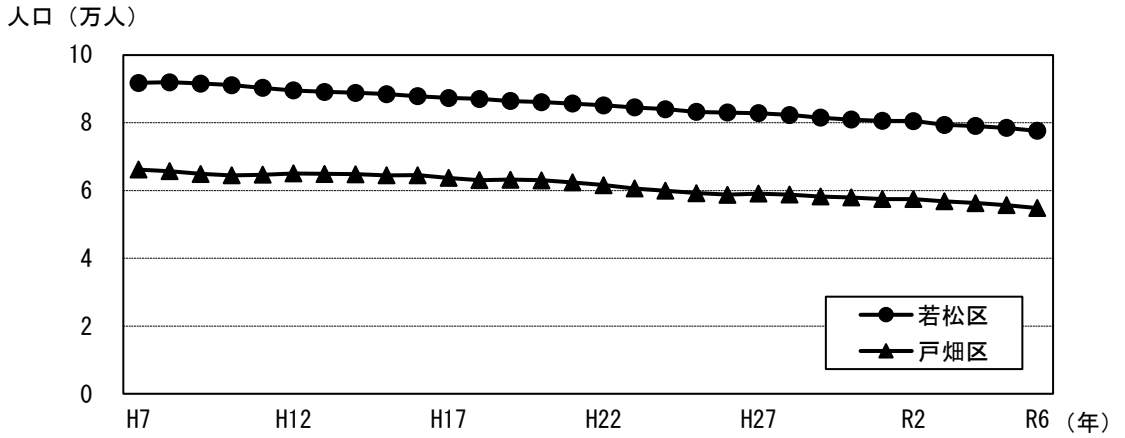
3.2.1　人口の状況

令和８年４月現在の若松区の人口、世帯数はどちらも北九州市全体の 8%を占めており、人口密度は市平均の 0.6 倍である。戸畑区の人口、世帯数はどちらも市全体の 6%を占め、人口密度は 1.8 倍である（表 3-26）。若松区と戸畑区の人口の推移（図 3-34）をみると、どちらも減少傾向がみられる。

表 3-26　人口、世帯数及び人口密度

項　　目	北九州市	若松区	戸畑区
人　口（人）	898,668	75,924 （8%）	53,831 （6%）
世帯数（世帯）	436,960	33,605 （8%）	27,282 （6%）
人口密度（人/㎢）	1,825	1,054 （0.6 倍）	3,241 （1.8 倍）

備考）1.令和８年４月１日現在の推計値を表示。
2.（）内の数値は、北九州市全体に対する比率を示す。
［出典：「推計人口及び推計人口異動状況」（北九州市ホームページ）
（北九州市政策局政策部政策課、令和８年７月取得）より作成］



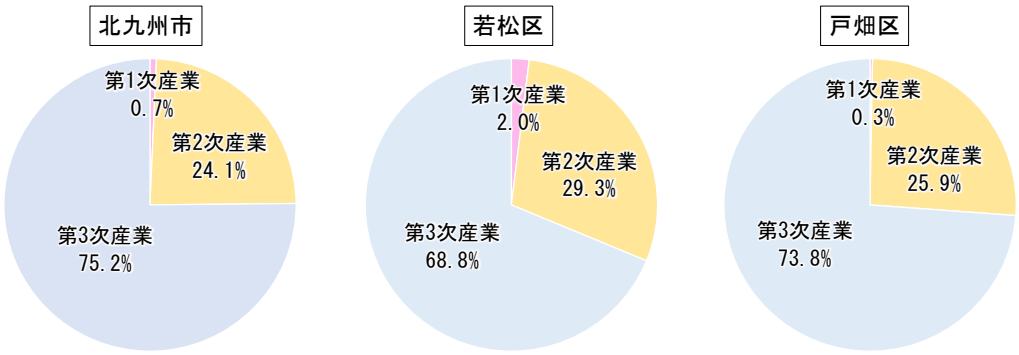
［出典：「北九州市統計年鑑」（北九州市ホームページ）
（北九州市政策局総務課、令和８年７月取得）より作成］

図 3-34　人口の推移

3.2.2　産業の状況

3.2.2.1　産業構造

調査対象地域における産業別就業者数の割合を図 3-35 に示す。北九州市、若松区、戸畑区はいずれも第 3 次産業の就業者の割合が最も多く、約 7 割を占めている。



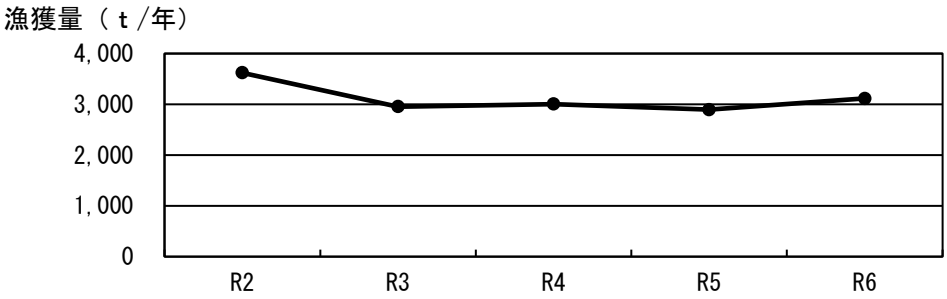
備考）令和 2 年 10 月 1 日現在の就業者数に占める産業（大分類）別就業者の割合を示す。
［出典：「国勢調査」（総務省ホームページ、令和 8 年 7 月取得）より作成］

図 3-35　産業別就業者数の割合

3.2.2.2　水産業の状況

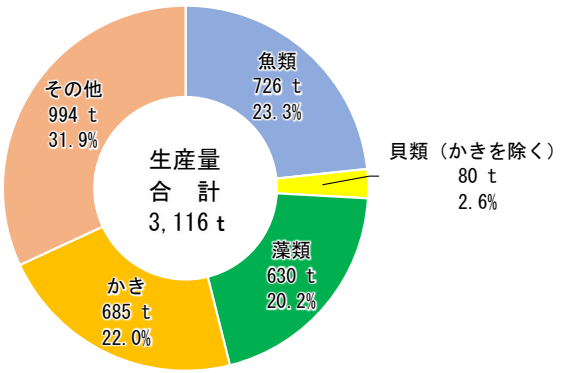
北九州市の過去 5 年の漁獲量の推移を図 3-36、令和 6 年の漁獲量を図 3-37 に示す。

北九州市の漁獲量は、令和 2 年から令和 3 年にかけて減少し、その後は横ばいで推移している。令和 6 年の漁獲量は 3,116 t であり、魚類が全体の約 23%を占めている。



［出典：「北九州市統計年鑑」（北九州市ホームページ、令和 8 年 7 月取得）より作成］

図 3-36　北九州市の漁獲量の推移



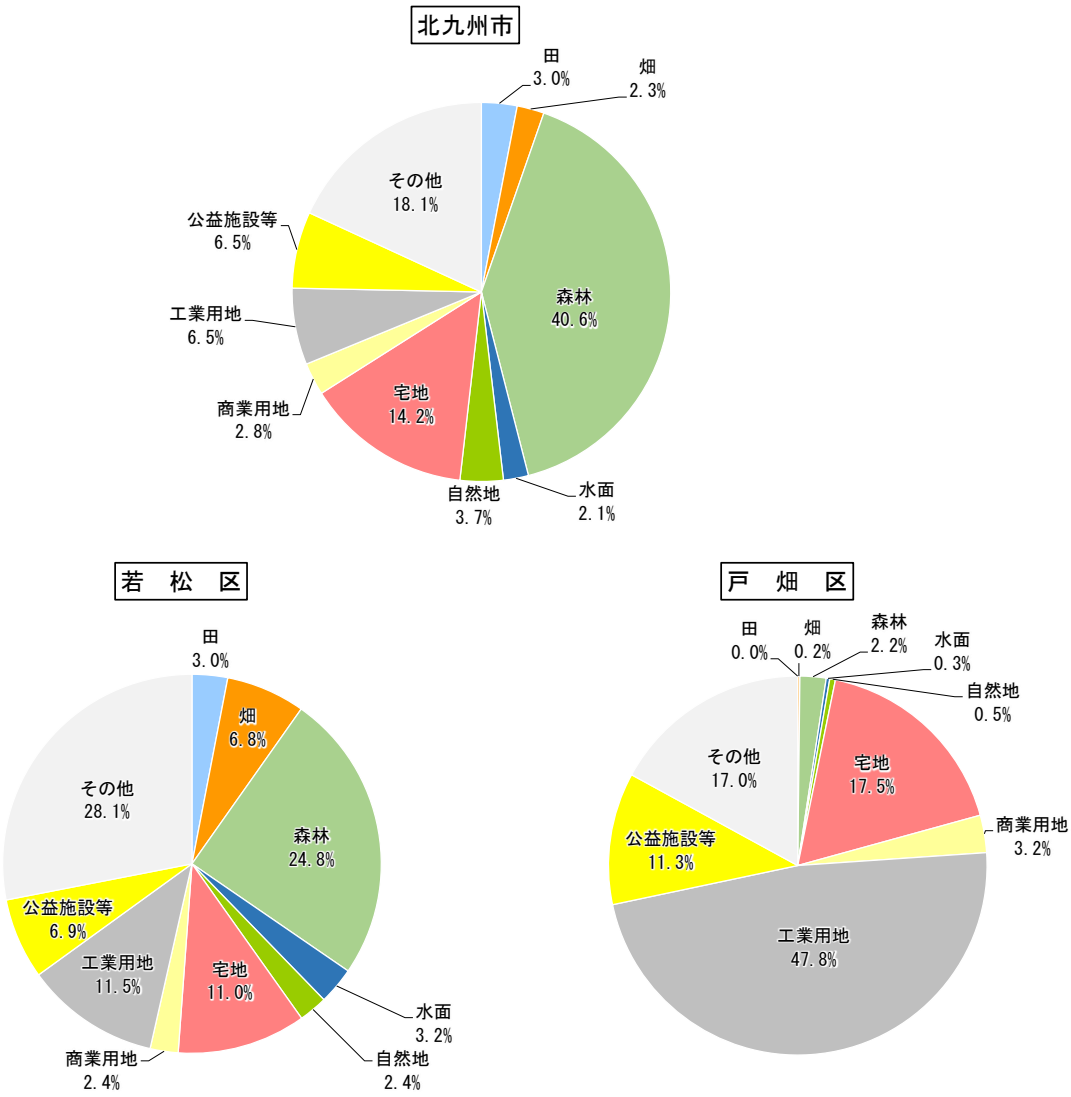
［出典：「北九州市統計年鑑」（北九州市ホームページ、令和 8 年 7 月取得）より作成］

図 3-37　北九州市の魚種別漁獲量（令和 6 年）

3.2.3　土地利用の状況

3.2.3.1　土地利用状況

北九州市と若松区及び戸畑区の土地利用状況を図 3-38 に示す。戸畑区は工業用地の割合が約 5 割と多く、若松区も市全域に比べると工業用地の割合が多くなっている。



［出典：「北九州市統計年鑑」（北九州市ホームページ）
（北九州市建築都市局都市計画課、令和 8 年 7 月取得）より作成］

図 3-38　土地利用状況

3.2.3.2　土地利用規制状況

「都市計画法」に基づく北九州市の都市計画区域は、藍島、馬島等の離島を除く北九州市全域を対象に 48,865ha が指定されており、令和 8 年 3 月現在、市街化区域 20,394ha、市街化調整区域 28,471ha となっている。

調査対象地域における都市計画区域の用途地域の指定状況を図 3-39 に示す。事業実施想定区域及び近傍は、工業専用地域でかつ臨港地区と区分されている。

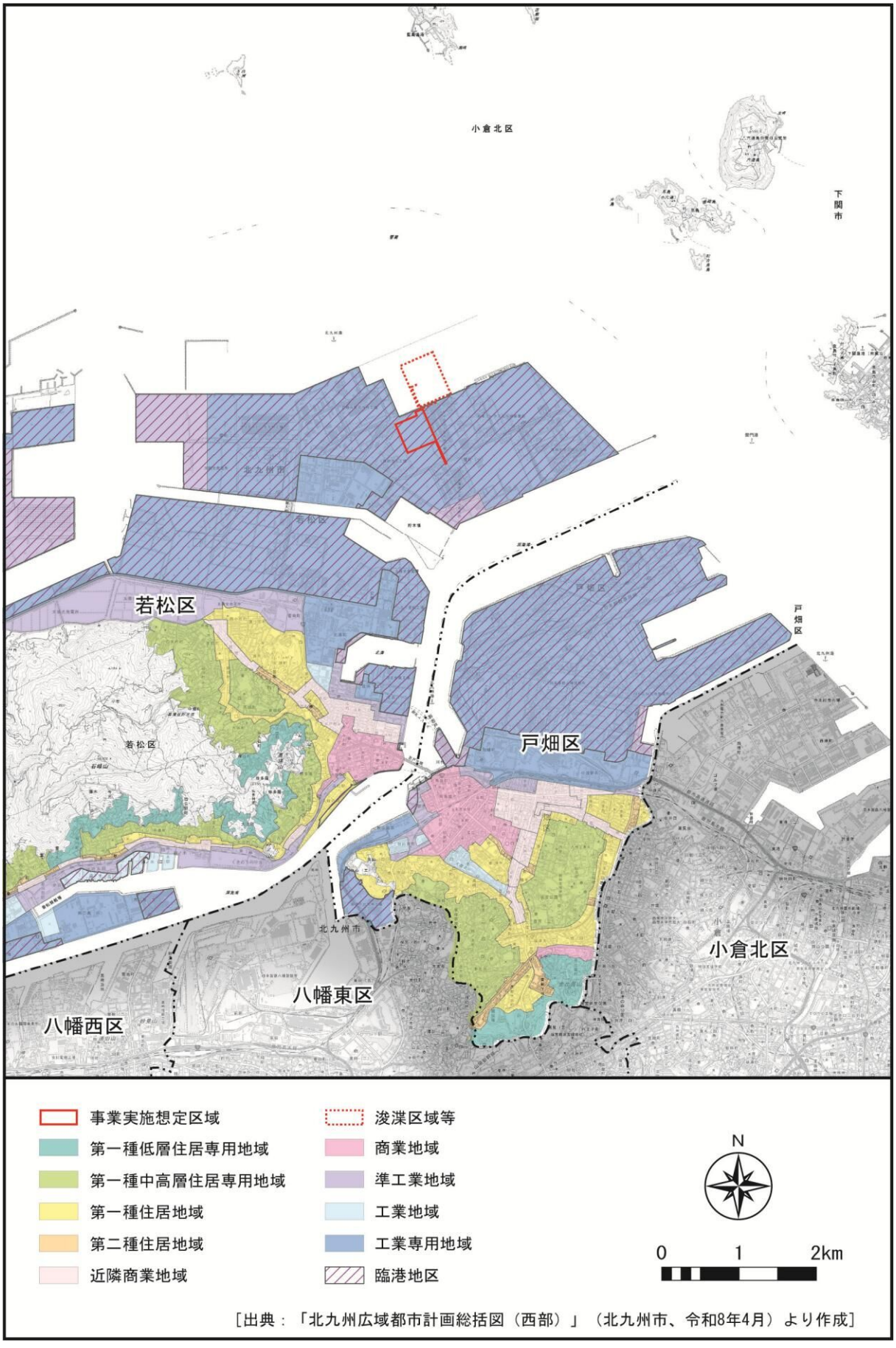

小倉北区
下関市
若松区
戸畑区
若松区
戸畑区
北九州市
八幡東区
八幡西区
小倉北区
事業実施想定区域
第一種低層住居専用地域
第一種中高層住居専用地域
第一種住居地域
第二種住居地域
近隣商業地域
浚渫区域等
商業地域
準工業地域
工業地域
工業専用地域
臨港地区
N
0
1
2km
［出典：「北九州広域都市計画総括図（西部）」（北九州市、令和8年4月）より作成］

図 3-39　都市計画区域

3.2.4　水域利用の状況

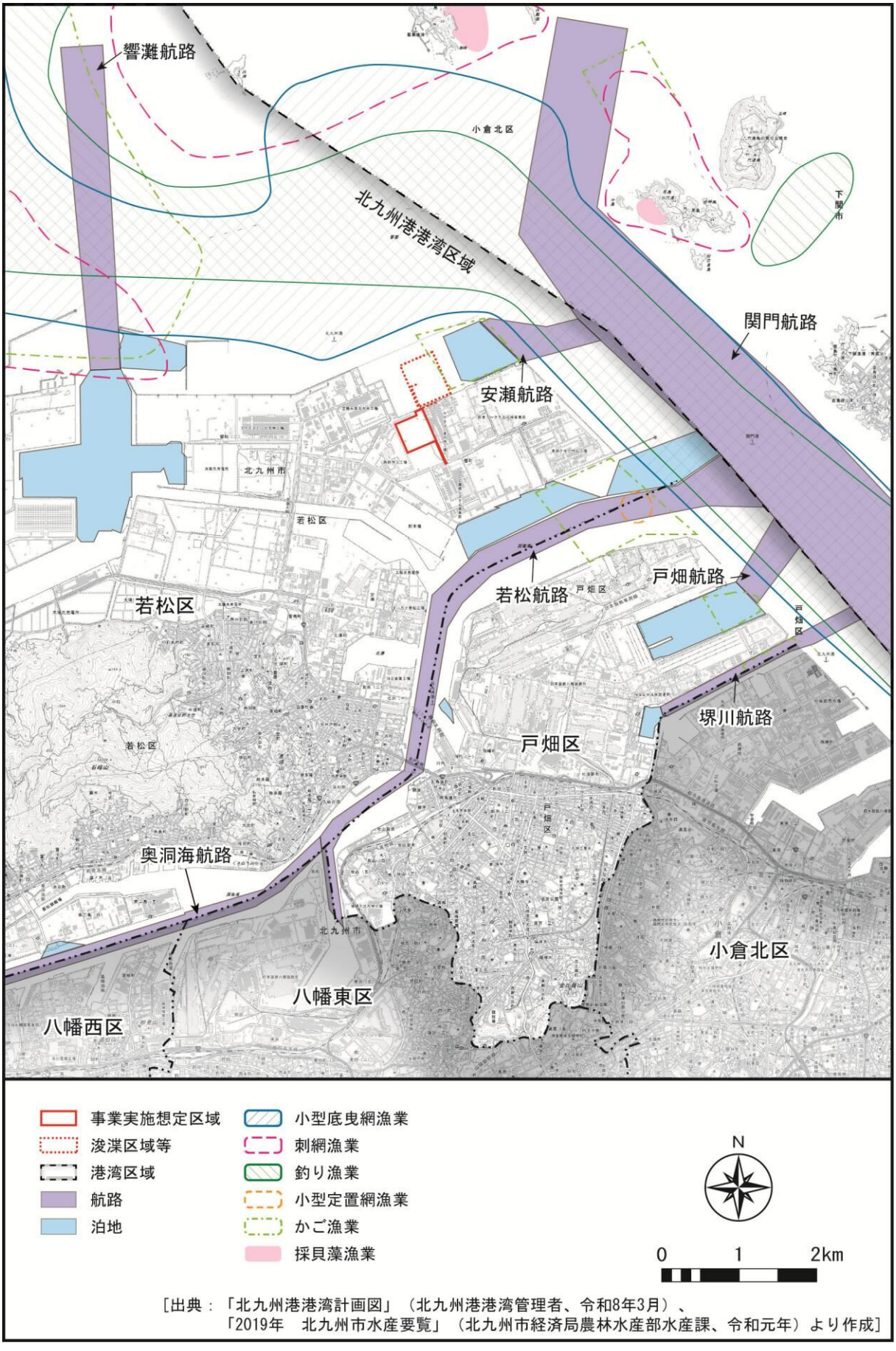
3.2.4.1　水域利用状況

調査対象地域における水域利用状況を図 3-40 に示す。事業実施想定区域の北側の海域は北九州港港湾区域にあたり、周辺には航路があり、航路にはそれぞれ泊地が存在する。事業実施想定区域の北側の海域には、安瀬航路及びそれにつながる泊地がある。

また、調査対象地域の海域では、小型底曳網漁業、刺網漁業、釣り漁業、小型定置網漁業、かご漁業、採貝藻漁業が営まれている。事業実施想定区域北側の海域の泊地等では、かご漁業が行われている（図 3-40）。

3.2.4.2　漁業権の設定状況

調査対象地域における漁業権の設定状況を図 3-41、表 3-27、表 3-28 に示す。調査対象地域の海域には、共同漁業権及び海面区画漁業権が設定されている。事業実施想定区域の地先の海域は共同漁業権の除外区域となっている。海面区画漁業権は、事業実施想定区域から北東へ約 4km 離れた馬島及び西北西へ約 4km 離れた海域で設定されている。事業実施想定区域の近傍海域で、区画漁業権の設定はない。



［出典：「北九州港港湾計画図」（北九州港港湾管理者、令和8年3月）、
「2019年　北九州市水産要覧」（北九州市経済局農林水産部水産課、令和元年）より作成］

図 3-40　水域利用状況



［出典：「2024年　北九州市水産要図」（北九州市産業経済局農林水産部水産課、令和6年）より作成］

図 3-41　漁業権等の設定状況

表 3-27　第一種共同漁業権の内容

免許番号	漁業権者 （漁業協同組合）	漁業の名称
筑共 16 号	北九州市漁業協同組合 （脇之浦、若松） ひびき灘漁業協同組合 （脇田）	なまこ、たこ、うに、あわび、とこぶし、びな、さざえ、あかにし、ばい、たいらぎ、かき、あさり、ふともずく、もずく、あらめ、くろめ、わかめ、ひじき、てんぐさ、あかもく
筑共 18 号	北九州市漁業協同組合 （平松、長浜、馬島、大里、旧門司） ひびき灘漁業協同組合 （藍島）	えむし、なまこ、いせえび、しゃこ、たこ、うに、あわび、とこぶし、びな、さざえ、うみにな、あかにし、ばい、てんぐにし、いがい、かき、あさり、ふともずく、あらめ、くろめ、わかめ、ひじき、あまのり、てんぐさ、あかもく
筑共 19 号	北九州市漁業協同組合 （平松、長浜、馬島、大里、旧門司） ひびき灘漁業協同組合 （藍島）	えむし、なまこ、しゃこ、たこ、うに、あわび、とこぶし、びな、さざえ、うみにな、ばい、あかがい、かき、あさり、ふともずく、もずく、あらめ、くろめ、わかめ、ひじき、てんぐさ、あかもく
筑共 20 号	北九州市漁業協同組合 （平松、長浜、馬島、大里、旧門司、脇之浦、若松） ひびき灘漁業協同組合 （脇田、藍島）	なまこ、しゃこ、たこ、うに、あわび、さざえ、ばい、てんぐにし、あさり、わかめ、あかもく
筑共 21 号	北九州市漁業協同組合 （脇之浦、若松）	なまこ、たこ、うに、あわび、びな、さざえ、たいらぎ、あさり、あらめ、くろめ、わかめ、あかもく

［出典：「漁業権について（福岡県筑前海区共同漁業権に関する情報一覧）」
（水産庁ホームページ、資源管理部管理調整課、令和 8 年 7 月取得）］

表 3-28　第二種共同漁業権の内容

免許番号	漁業権者 （漁業協同組合）	漁業の名称
筑共 16 号	北九州市漁業協同組合 （脇之浦、若松） ひびき灘漁業協同組合 （脇田）	雑魚小型定置網（枡網、落網、大謀網等を含む）、雑魚曲建網（いか、さわら等を目的としたものを含む）、固定式刺網、あなごうけ、雑魚かご
筑共 18 号	北九州市漁業協同組合 （平松、長浜、馬島、大里、旧門司） ひびき灘漁業協同組合 （藍島）	雑魚小型定置網（枡網、落網、大謀網等を含む）、雑魚曲建網（いか、さわら等を目的としたものを含む）、固定式刺網、あなごうけ、雑魚かご
筑共 19 号	北九州市漁業協同組合 （平松、長浜、馬島、大里、旧門司） ひびき灘漁業協同組合 （藍島）	雑魚曲建網（いか、さわら等を目的としたものを含む）、固定式刺網、あなごうけ、雑魚かご
筑共 20 号	北九州市漁業協同組合 （平松、長浜、馬島、大里、旧門司、脇之浦、若松） ひびき灘漁業協同組合 （脇田、藍島）	固定式刺網、あなごうけ、雑魚かご
筑共 21 号	北九州市漁業協同組合 （脇之浦、若松）	固定式刺網、あなごうけ、雑魚かご

［出典：「漁業権について（福岡県筑前海区共同漁業権に関する情報一覧）」
（水産庁ホームページ、資源管理部管理調整課、令和 8 年 7 月取得）］

3.2.4.3　水源利用

(1) 上水

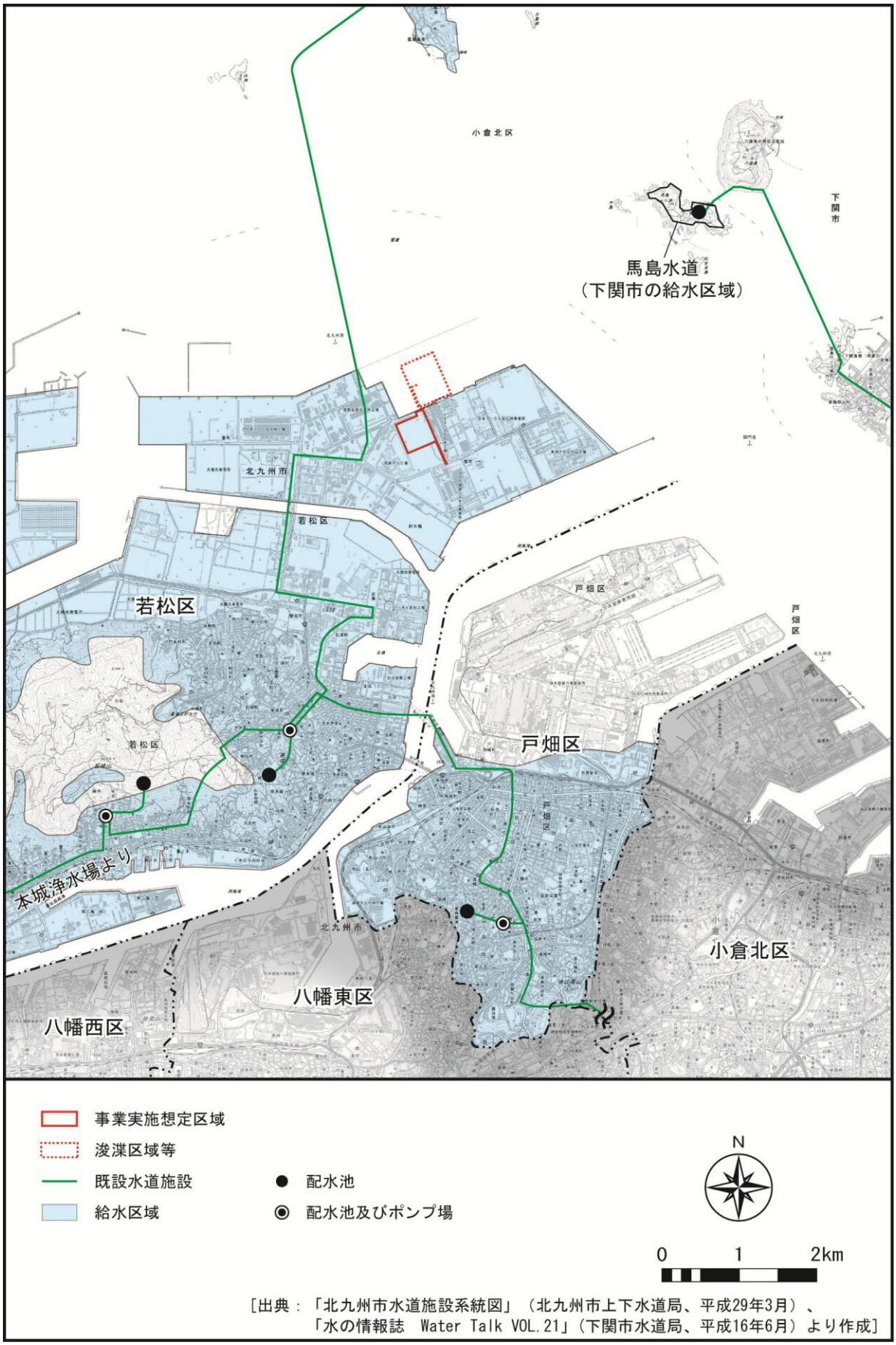
北九州市の上水道の供給能力を表 3-29、上水道施設の系統図を図 3-42 に示す。北九州市の上水道の水源は、油木貯水池、耶馬溪貯水池、ます渕貯水池、畑貯水池等の計 10 箇所である。

事業実施想定区域が位置する若松区響町は、上水道の給水区域となっており、遠賀川河口堰や伊佐座取水場等を水源とした本城浄水場から上水が供給されている。

表 3-29　北九州市の上水道の供給能力

水系別	水源地名	水源の種別	取水量（㎥/日）	浄水場名	供給能力（㎥/日）
今川水系	油木貯水池	ダム貯水	106,000	井手浦	255,200
山国川水系	耶馬溪貯水池	ダム貯水（放流水）	59,000		
紫川水系	ます渕貯水池	ダム貯水	90,200		
	葛牧水源地	伏流水及び一部表流水	41,000		41,000
	道原貯水池	ダム貯水	7,800	道原	7,800
遠賀川水系	畑貯水池	ダム貯水	24,000	畑	24,000
	力丸貯水池	ダム貯水	72,000	穴生	300,000
	中間取水場	表流水	69,000		
	伊佐座取水場（頓田貯水池）	表流水及び一部ダム貯水	159,000		
			70,000	本城	141,000
	遠賀川河口堰	ダム貯水	71,000		
計			769,000		769,000

［出典：「令和 6 年度　水道・工業用水道・下水道　事業年報」（北九州市上下水道局）より作成］



［出典：「北九州市水道施設系統図」（北九州市上下水道局、平成29年3月）、
「水の情報誌　Water Talk VOL.21」（下関市水道局、平成16年6月）より作成］

図 3-42　上水道施設の系統図

（2）工業用水

北九州市の工業用水の供給能力を表 3-30、工業用水道施設の系統図を図 3-43 に示す。北九州市の工業用水道の水源は、伊佐座取水場、力丸貯水池、遠賀川河口堰の 3 箇所である。

事業実施想定区域は工業用水の給水区域であり、上水と同様に遠賀川河口堰及び伊佐座取水場を水源とする本城浄水場から工業用水が給水されている。

表 3-30　北九州市の工業用水の供給能力

名称・系統（旧事業名）		水源地名	取水量（㎥/日）	浄水場名	供給能力（㎥/日）
北九州市工業用水道事業	一次系（第一次工業用水道布設事業）	伊佐座取水場（頓田貯水池）	70,000	本城	70,000
	二次系（第二次工業用水道布設事業）		69,100	伊佐座	112,000
		力丸貯水池	42,900	－	
	三次系（第三次工業用水道布設事業）	遠賀川河口堰	47,000	本城	72,000
	産炭系（産炭地域小水系用水開発事業）		25,000		
計			254,000		254,000

［出典：「令和 6 年度　水道・工業用水道・下水道　事業年報」（北九州市上下水道局）より作成］

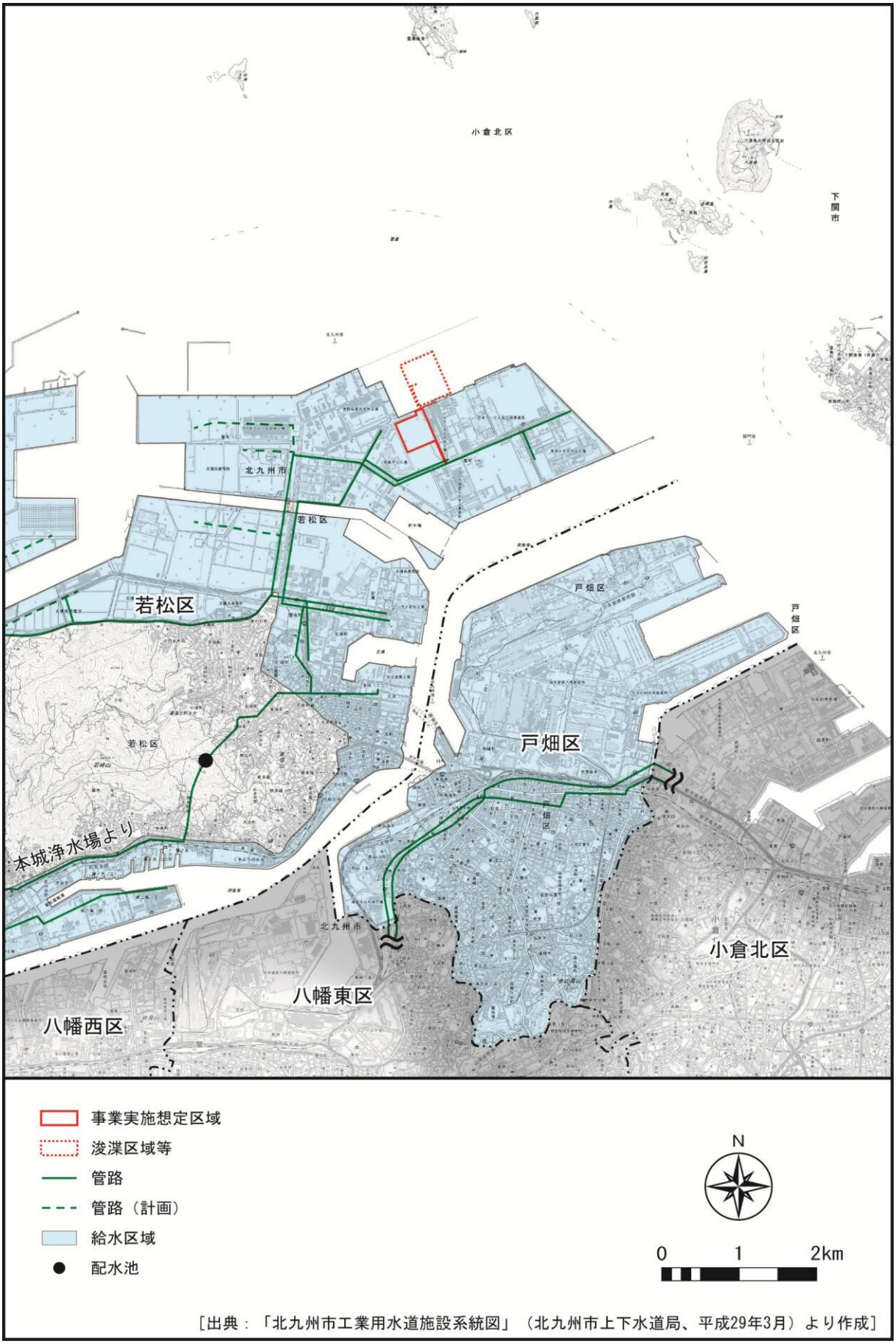


図 3-43　工業用水道施設の系統図

3.2.5　交通の状況

3.2.5.1　陸上交通

調査対象地域における主要な道路を図 3-44 に示す。調査対象地域には、若松区を東西に走る一般国道 495 号、一般国道 199 号及び本町小竹 1 号線、若戸大橋を隔てて戸畑区を東西に走る一般国道 199 号、八幡戸畑線等がある。

令和 3 年度における主要な道路の自動車交通量を表 3-31 に示す。事業実施想定区域に近い一般国道 495 号の 12 時間交通量は、①地点で 15,032 台（大型車混入率 22.8%）、④地点で 4,763 台（大型車混入率 10.9%）であり、2 地点の交通量の伸び率はそれぞれ 1.1 倍、1.0 倍となっている。

表 3-31　主要な道路の自動車交通量（令和 3 年度）

No.	路線名	自動車交通量（台/12ｈ）	大型車混入率※（%）	交通量伸び率（R3/H27）
①	一般国道 495 号	15,032	22.8	1.1
②	本町小竹 1 号線	12,597	4.8	1.0
③	一般国道 199 号	26,853	8.7	1.1
④	一般国道 495 号	4,763	10.9	1.0
⑤	安瀬戸畑 1 号線（響灘戸畑線（若戸トンネル）外）	19,563	21.6	1.3
⑥	一般国道 199 号（若戸大橋）	27,124	11.5	1.1
⑦	一般国道 199 号	16,694	19.6	1.0
⑧	八幡戸畑線	20,653	11.5	1.0
⑨	下到津戸畑線	12,131	7.1	0.9
⑩	一般国道 3 号	34,429	10.0	0.9
⑪	曽根鞘ケ谷線	10,457	3.8	1.0

備考）表中の数値は平日午前 7 時から午後 7 時までの 12 時間観測値に基づく。
※：自動車交通量に対する大型車（バス、普通貨物車、特種）交通量の割合を百分率で示したもの。
［出典：「令和 3 年度　道路交通センサス」（国土交通省、令和 5 年度）より作成］

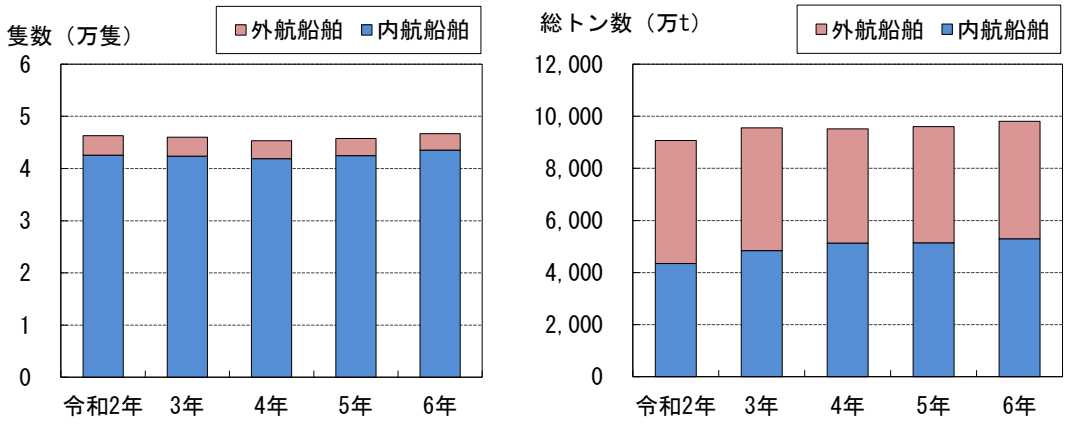


図 3-44　主要な道路及び自動車交通量調査地点

3.2.5.2　海上交通

北九州港は北九州都市圏の産業、経済の基盤として、また西日本における貿易の拠点として位置づけられている。

北九州港の過去 5 年間の外航・内航船舶の入港船舶隻数・総トン数を図 3-45 に示す。入港船舶隻数は、外航船舶、内航船舶のどちらも概ね横ばいで推移している。入港船舶総トン数は、外航船舶が概ね横ばい、内航船舶がやや増加傾向で推移している。



［出典：「令和 6 年（2024 年）北九州港　港湾統計（年報）」
（北九州市港湾空港局港営部、令和 8 年 7 月取得）より作成］

図 3-45　北九州港の入港船舶隻数（左）・総トン数（右）

3.2.6　環境の保全の配慮が特に必要な施設の配置及び住宅の配置の状況

調査対象地域の教育施設を表 3-32、病院及び社会福祉施設の数を表 3-33、教育施設、病院及び住宅地等の分布状況を図 3-46 にそれぞれ示す。

教育施設、病院及び社会福祉施設は、事業実施想定区域の位置する響地区やその周辺の向洋地区、安瀬地区及び戸畑地区には存在しない。保全対象施設及び住宅地は、どちらも事業実施想定区域から 2km 以上離れている。

表 3-32　教育施設の数

行政区		幼稚園	小学校	中学校	高等学校	大学・短期大学	特別支援学校	その他※
北九州市		88	132	73	37	15	10	35
	若松区	11	13	6	3	2	1	0
	戸畑区	5	9	5	5	1	1	1

※：休校中の学校を含む。

［出典：「教育要覧 2025」（北九州市教育委員会、令和 7 年 9 月）より作成］

表 3-33　病院及び社会福祉施設の数

行政区		病　院	老人福祉施設	障害者施設	児童福祉施設
北九州市		90	121	861	235
	若松区	5	14	59	22
	戸畑区	5	13	52	15

※病院は令和 5 年度、福祉施設は令和 6 年度時点の施設数を示す。

［出典：「北九州市統計年鑑」（北九州市政策局政策部政策課）より作成］

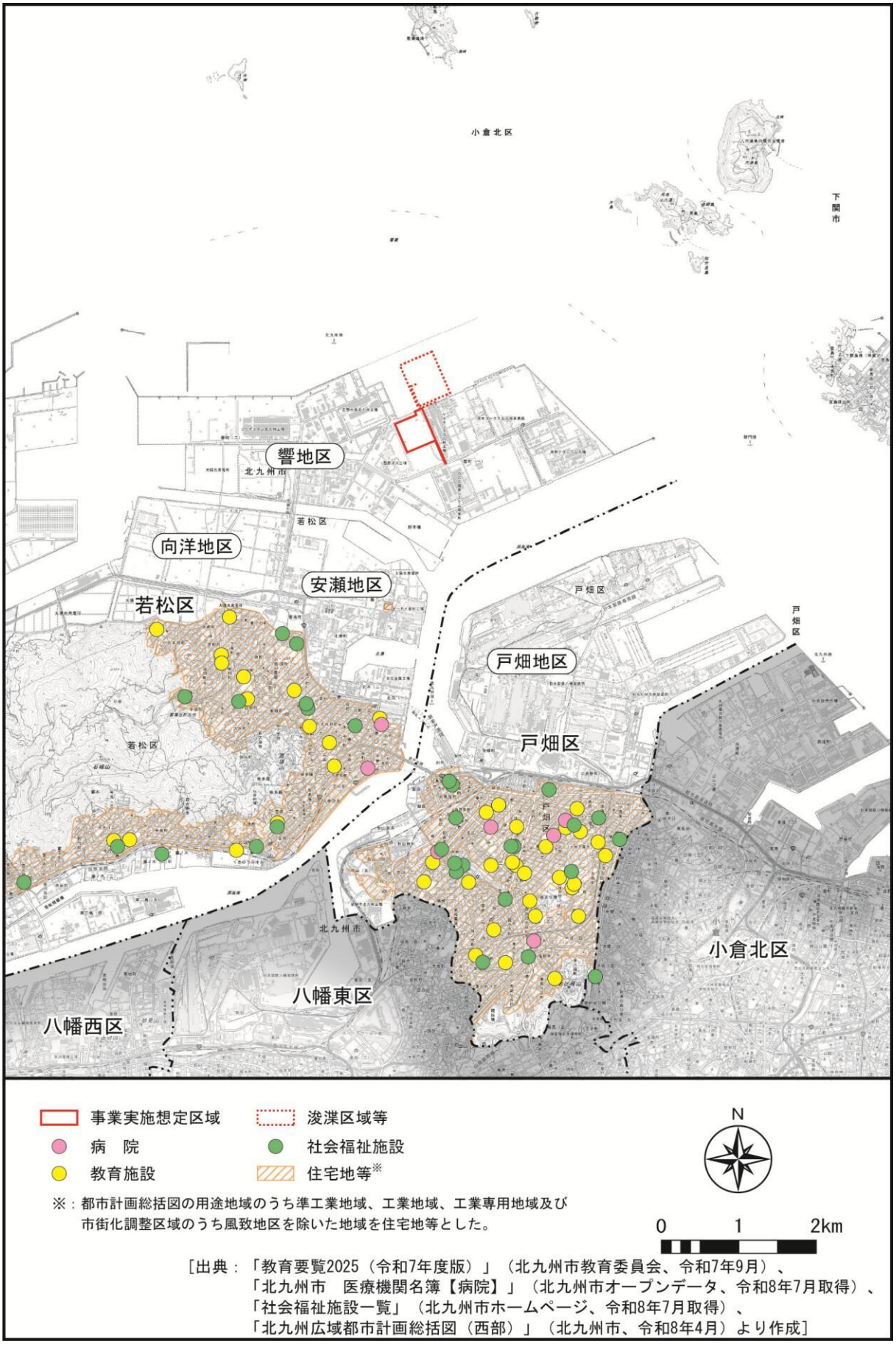


図 3-46　教育施設、病院及び住宅地等の分布状況

3.2.7　下水道の整備の状況

調査対象地域の下水道の普及率を表 3-34、下水道の整備状況を図 3-47 に示す。令和 6 年 3 月末の下水道普及率は北九州市全域で 99.9%、若松区で 99.6%、戸畑区で 100.0%である。調査対象地域には北湊処理区と日明処理区があり、管渠はそれぞれ北湊浄化センターと日明浄化センターに接続されている。

事業実施想定区域は下水道の全体計画区域内にあるものの、令和 8 年 3 月末現在で供用は開始されていない（図 3-47）。

表 3-34　下水道の普及率

行政区	行政区域内人口（人）	処理区域内人口（人）	普及率（%）
北九州市	916,003	914,684	99.9
若松区	79,481	79,126	99.6
戸畑区	54,806	54,806	100.0

備考）令和 6 年 3 月末の値。

［出典：「下水道の普及状況」（北九州市上下水道局下水道部、令和 8 年 7 月取得）より作成］

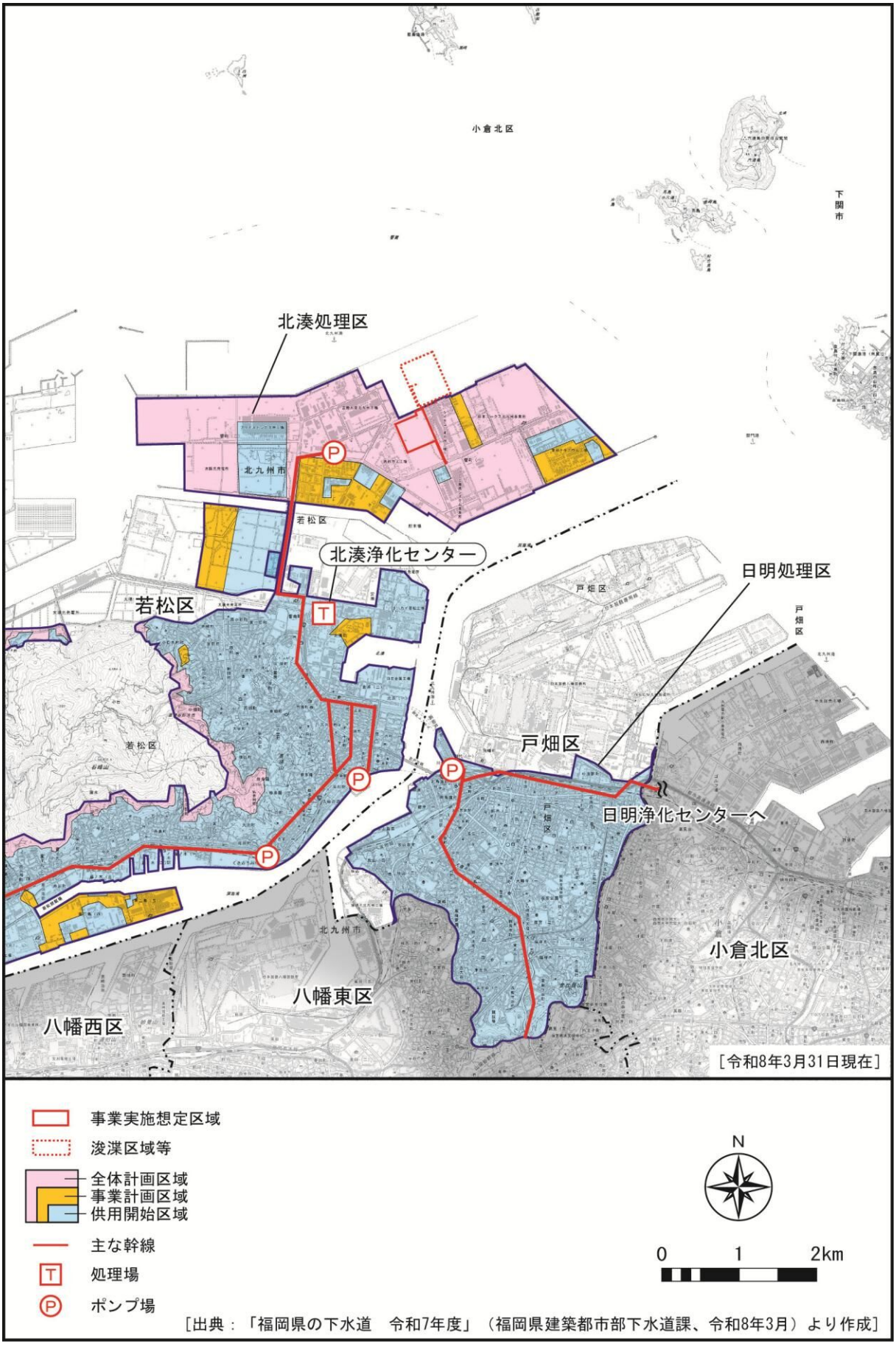


図 3-47　下水道の整備状況